

「里山へ飛び出そう」

佐藤 健一

(NPO 法人人と自然の会 里山クラブ)

里山クラブは、1997年に実施されたひとはくのセミナー「里山クラブ」のサポーターとして発足し、その後99年より「里山クラブ」として新たにスタートを切りました。身近な自然と触れあうことにより、自然の恵みのありがたさや環境保全の必要性を肌で感じるようにしようがモットーです。具体的な活動は、毎月1回深田公園内雑木林の手入れ、ドリームスタジオや三田市環境セミナーでの自然体験活動、ひとはくフェスティバルでは「森のゆうえんち」を開催しています。

わたしたちの会の中で里山クラブといえば「森のゆうえんち」といわれるくらい定番のイベントとなっており、過去、丹波の森公苑、県立有馬富士公園、そして深田公園内の雑木林で行ってきました。参加者の子どもたちにはいずれも大盛況で、行列のできるイベントとして定着しています。

なお、ゆうえんちの遊具には多くのメンバーのアイデアと工夫が盛り込まれており、ツルで作ったゆりかごやブランコ。ロープワークを駆使した滑車すべりに三本橋。極めつけは6メートルを超えるシーソーや竹のすべり台等、いずれも雑木林の手入れ等で発生した廃材を利用してメンバーが組み上げ・編み込みんだものを使用しています。

今後は、ひとはくの研究員の方々との信頼関係をベースに、他団体との連携を視野に入れ雑木林を利用した屋外での自然体験活動や里山の利用保全について、自分たちでできることを模索しながら活動していきたいと考えています。



ひとはくフェスティバル '04 森のゆうえんち